



北島町公共下水道事業経営戦略

令和6年2月

北島町下水道課



目 次

1. 事業概要.	1
(1) 事業の現況.	1
(2) 民間活力の活用等.	3
(3) これまでの主な経営健全化の取組.	3
(4) 経営比較分析表を活用した現状分析.	4
2. 将来の事業環境・.	8
(1) 処理区域内人口の予測.	8
(2) 有収水量の予測.	9
(3) 使用料収入の見通し.	9
(4) 施設の見通し.	10
(5) 組織の見通し.	10
3. 経営の基本方針.	10
4. 投資・財政計画（収支計画）.	11
(1) 投資・財政計画（収支計画）.	11
(2) 投資・財政計画（収支計画）策定に当たっての説明.	15
(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要.	19

5. ロードマップ.	2 1
(1) これまでの主な経営健全化の取組.	2 1
(2) 経費回収率の向上に向けたロードマップ.	2 1
(3) 業績目標.	2 2
(4) 進捗管理と経営指標.	2 3
(5) 下水道使用料.	2 3
別添	
原価計算表.	2 4

北島町公共下水道事業経営戦略

・策定年月：令和6年2月

・計画期間：令和6年度から令和15年度（10年間）

1. 事業概要

（1）事業の現況

〈1. 施設〉

- ・供用開始年度：平成21年度（供用開始後15年経過）
- ・公営企業法一部適用：平成31年4月1日
- ・処理区域内人口密度：47.8人/ha
- ・流域下水道等への接続：有
- ・処理区数：1処理区（旧吉野川流域下水道・旧吉野川処理区の一部）
- ・処理場数：なし（徳島県管理の旧吉野川浄化センターで処理）
- ・広域化・共同化・最適化実施状況：

旧吉野川流域下水道に接続し、構成市町*1と徳島県が共同で下水道整備を行う。

*1 構成市町とは、徳島市・鳴門市・松茂町・北島町・藍住町・板野町の2市4町をいう。

〈2. 使用料〉

・使用料体系：基本使用料（10m³まで） 1,467円

従量料金 11～20m³：167.2円/m³ 21～30m³：177.1円/m³

31～40m³：188.1円/m³ 41～50m³：198.0円/m³

51m³以上：209.0円/m³

・一般家庭における20m³あたりの使用料

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
条例上の使用料*2	3,130円	3,130円	3,130円
実質的な使用料*3	3,654円	3,612円	3,611円

*2 条例上の使用料とは、一般家庭における20m³あたりの使用料をいう。

*3 実質的な使用料とは、料金収入の合計を有収水量の合計で除した値に20m³を乗じたもの（家庭用のみでなく業務用を含む）をいう。

〈3. 組織〉

・職員数 正規職員：4名 会計年度任用職員：1名

・事業運営組織 下水道課長：1名 技術職員：2名 事務職員：2名

〈2. 災害対策等〉

日本下水道管路管理業協会と災害復旧支援協力に関する協定を締結し、地震等の災害により下水道施設が被災した際に早期復旧を行う体制を整備した。

〈3. その他〉

料金の徴収に係る業務は、水道課へ委託している。

(水道課で民間委託と検針員の直接雇用の費用を比較し直接雇用としている。)

(4) 経営比較分析表を活用した現状分析

令和3年度の経営比較分析表は、6～7ページのとおりである。経営比較分析は、次のとおりである。

〈1. 経営の健全性・効率性〉

- ・①経常収支比率は100%を超えているものの、一般会計からの補助金収入に依存している。
 - ・③流動比率（短期的な債務に対する支払能力）は100%を超えているものの、類似団体の平均を下回っている。
 - ・④企業債残高対事業規模比率、⑥汚水処理原価は類似団体と比較すると高く、⑤経費回収率は低い水準である。
- 当事業は、現在設備投資の段階であり、収益を確保するのに十分な基盤を形成しているところである。

- ・⑧水洗化率は類似団体と比較し低い水準であり、向上に向けた取り組みが必要である。

〈2. 老朽化の状況〉

- ・施設整備開始は平成13年度であり、施設の老朽化は見られない。

〈3. 全体総括〉

- ・令和元年度より地方公営企業法を一部適用したことにより更なる経営状況等の把握に努め、面整備を進めていくとともに、水洗化率の向上に向けた取り組みを継続、強化していくことにより経営基盤の強化に努める。

経営比較分析表(令和3年度決算)

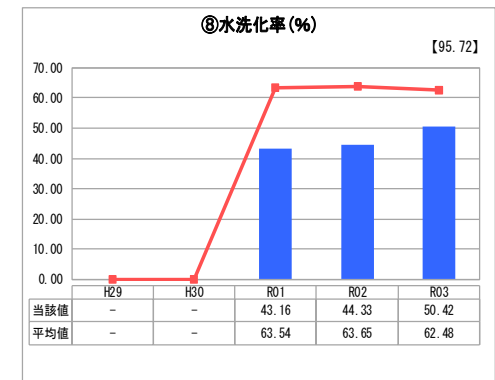
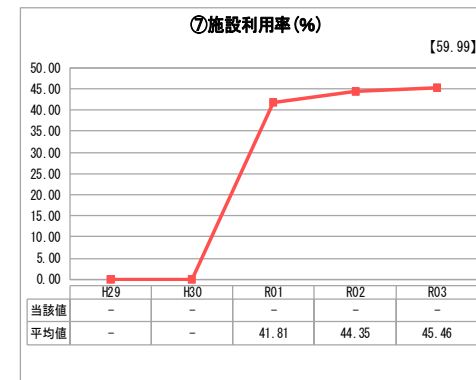
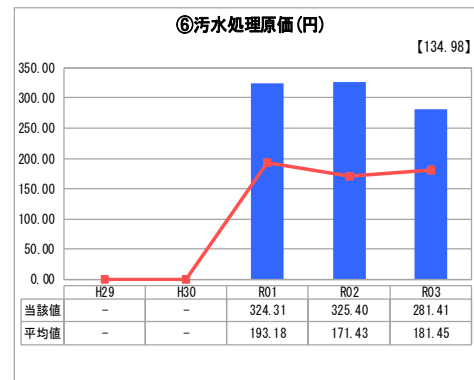
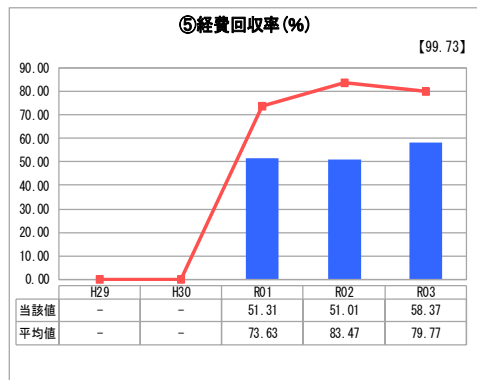
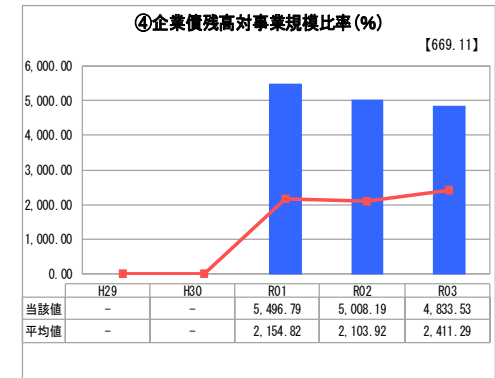
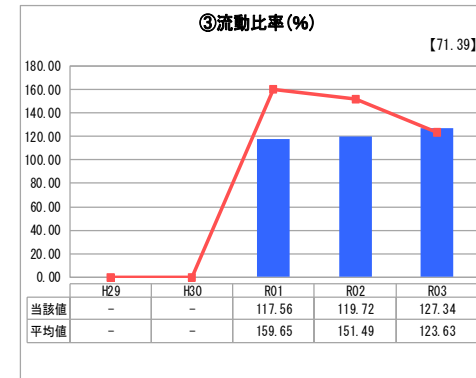
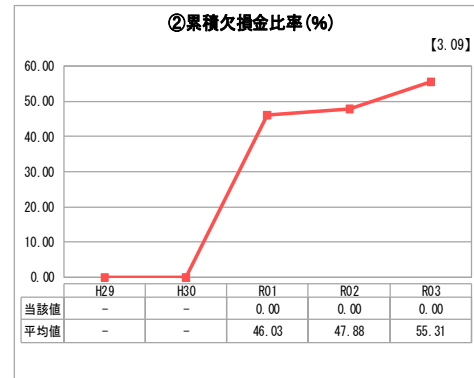
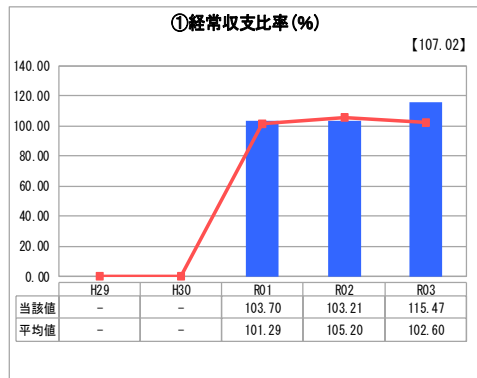
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.69	16.74	100.00	3,130

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,447	8.74	2,682.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,923	0.70	5,604.29

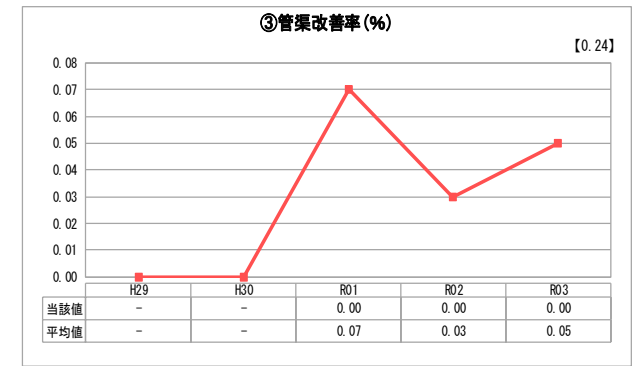
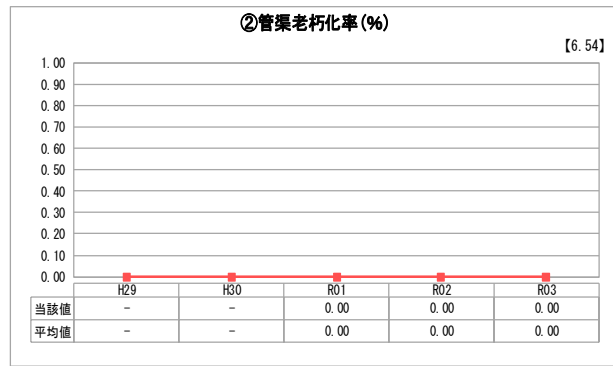
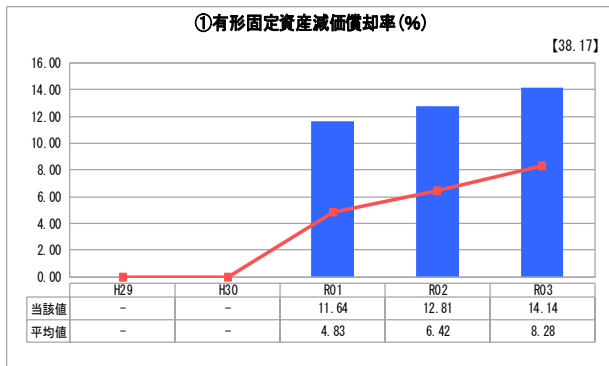
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



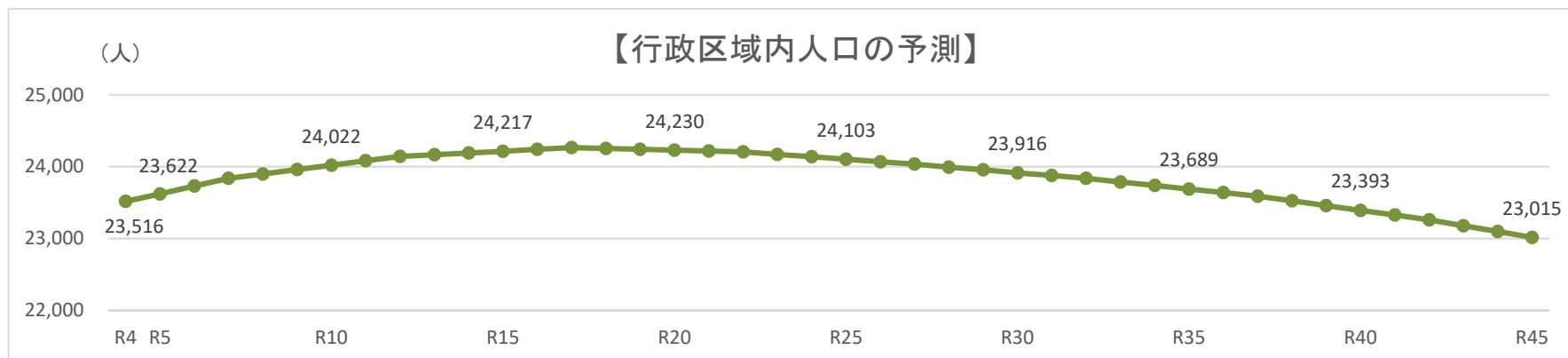
2. 老朽化の状況



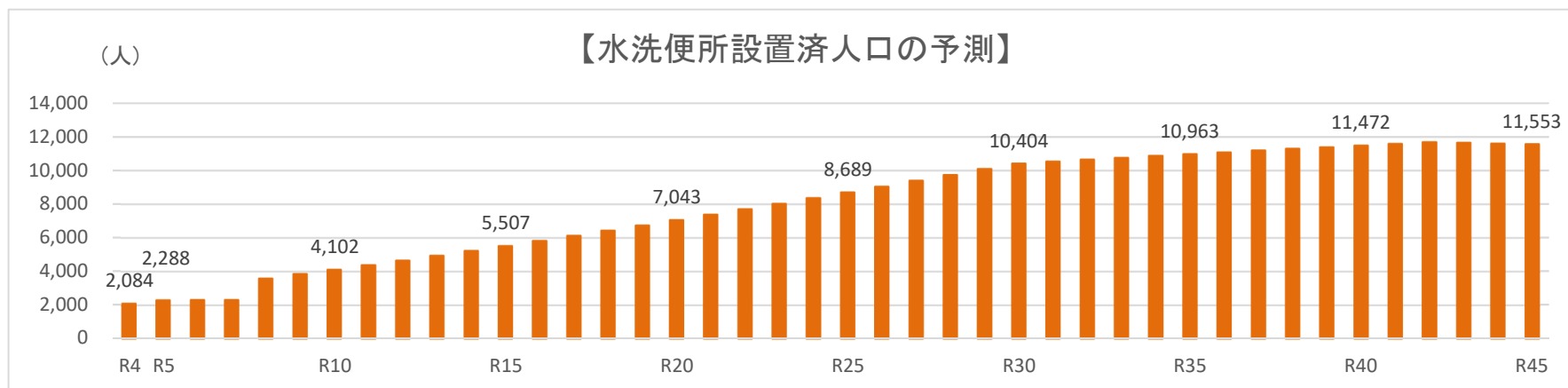
2. 将来の事業環境

(1) 処理区域内人口の予測

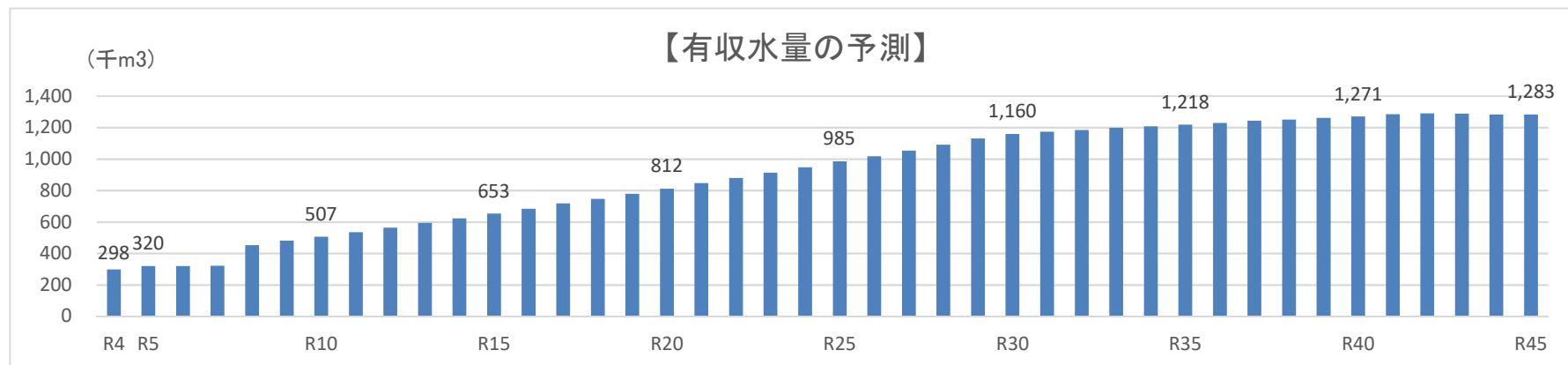
〈1. 行政区域内人口〉



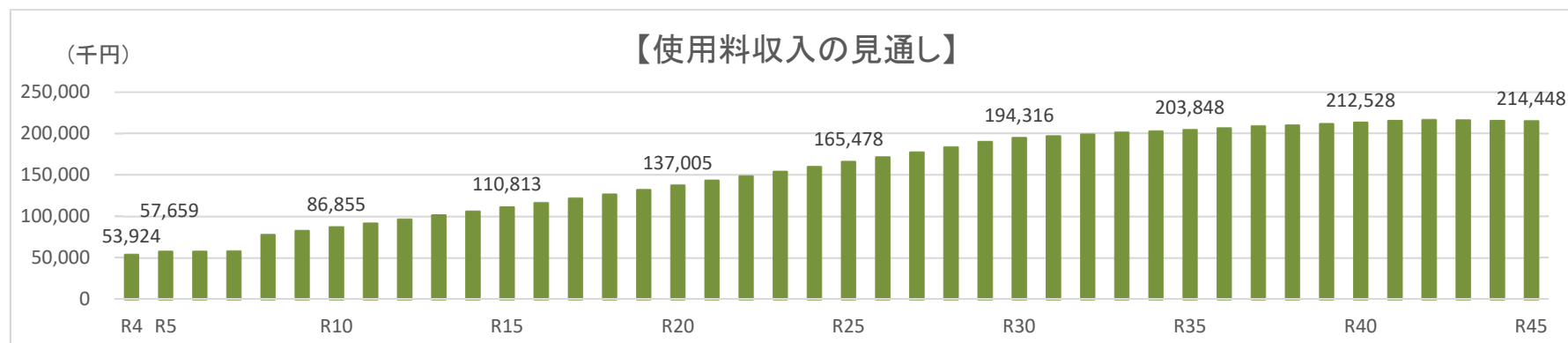
〈2. 水洗便所設置済人口〉



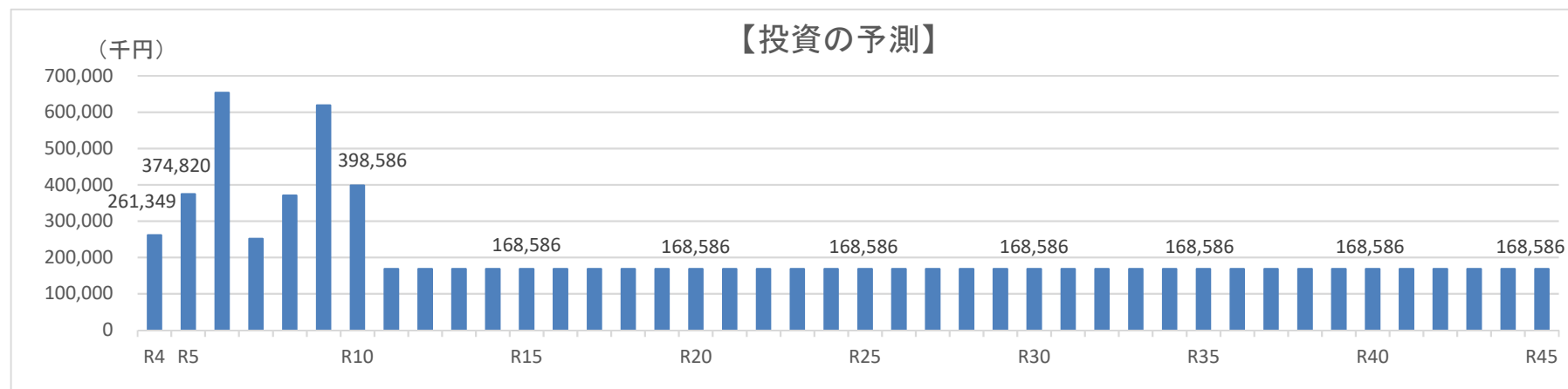
(2) 有収水量の予測



(3) 使用料収入の見通し



(4) 施設の見通し



(5) 組織の見通し

施設整備を進めている段階であり、現在の体制を維持しつつ、下水道に係る専門知識に加え地方公営企業法を一部適用していることから経営感覚の向上や専門知識の習得のため各種研修に積極的に参加し、最低限の人員で効率的な事業運営に努める。

3. 経営の基本方針

- ・施設整備を進めながら、適正な維持管理を行い、健全経営に努める。
- ・利用可能な国庫補助や企業債等の確保に努める。

4. 投資・財政計画（収支計画）

（1）投資・財政計画（収支計画）

収益の収支

（単位：千円、％）

区 分		年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
			（決算）	（予算）										
収 益 的 収 入	1. 営業収益 (A)		49,071	52,547	52,557	52,719	70,901	75,141	79,039	83,240	87,549	92,084	96,292	100,819
	(1) 料金収入		49,021	52,417	52,477	52,639	70,821	75,061	78,959	83,160	87,469	92,004	96,212	100,739
	(2) 受託工事収益 (B)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4) その他		50	130	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
	2. 営業外収益		186,536	193,226	204,894	199,855	204,938	210,545	223,785	226,255	229,075	229,550	230,128	225,832
	(1) 補助金		154,125	158,636	169,000	164,000	164,000	167,000	176,000	176,000	178,000	178,000	178,000	173,000
	他会計補助金		148,000	155,636	168,000	163,000	163,000	167,000	175,000	175,000	175,000	175,000	175,000	170,000
	その他補助金		6,125	3,000	1,000	1,000	1,000	—	1,000	1,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	(2) 長期前受金戻入		32,409	34,588	35,893	35,854	40,937	43,544	47,784	50,254	51,074	51,549	52,127	52,831
	(3) その他		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
収入計 (C)		235,607	245,773	257,451	252,574	275,839	285,686	302,824	309,495	316,624	321,634	326,420	326,651	
収 益 的 支 出	1. 営業費用		191,874	204,700	221,806	215,702	239,982	248,676	263,692	273,132	281,925	286,115	290,327	295,020
	(1) 職員給与と 基本給 退職給付 その他		18,693	19,813	20,070	20,282	20,282	20,282	20,282	20,282	20,282	20,282	20,282	20,282
	経費		66,667	72,546	82,180	76,000	89,543	92,229	97,157	100,044	106,993	110,083	112,936	116,032
	動力費		302	423	308	311	442	474	503	531	559	590	617	647
	修繕費		21	48	54	54	55	55	56	56	56	56	56	56
	材料費		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他		66,344	72,075	81,818	75,634	89,046	91,700	96,598	99,458	106,379	109,438	112,264	115,329
	(3) 減価償却費		106,514	112,341	119,556	119,420	130,157	136,165	146,253	152,806	154,650	155,750	157,109	158,706
	2. 営業外費用		30,939	30,605	32,626	33,616	34,984	35,569	35,474	35,298	33,805	31,553	29,212	26,940
	(1) 支払利息		28,899	28,570	29,714	30,704	32,072	32,657	32,562	32,386	30,893	28,641	26,300	24,028
(2) その他		2,040	2,035	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	2,912	
支出計 (D)		222,813	235,305	254,432	249,318	274,965	284,244	299,165	308,430	315,730	317,668	319,539	321,960	
経常損益 (C)-(D) (E)		12,794	10,468	3,020	3,256	873	1,441	3,659	1,065	895	3,966	6,882	4,691	
特別利益 (F)		338	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
特別損失 (G)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
特別損益 (F)-(G) (H)		338	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
当年度純利益（又は純損失）(E)+(H)		13,132	10,468	3,020	3,256	873	1,441	3,659	1,065	895	3,966	6,882	4,691	

区 分	年 度												
	R4 (決算)	R5 (予算)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
繰越利益剰余金又は累積欠損金 (I)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流 動 資 産 (J)	253,562	243,474	259,981	259,330	258,871	270,090	286,574	278,497	260,695	249,589	242,335	242,582	
うち未収金	18,465	22,128	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	
流 動 負 債 (K)	223,556	225,731	237,510	244,980	251,385	255,502	263,439	272,359	276,730	279,171	275,821	272,008	
うち建設改良費分	99,778	99,779	114,800	122,270	128,675	133,692	143,059	152,359	156,730	159,171	155,821	152,008	
うち一時借入金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
うち未払金	119,639	121,055	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	
累積欠損金比率 ($\frac{(I)}{(A)-(B)} \times 100$)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
地方財政法施行令第15条第1項により 算定した資金の不足額 (L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
営業収益－受託工事収益 (A)-(B) (M)	49,071	52,547	52,557	52,719	70,901	75,141	79,039	83,240	87,549	92,084	96,292	100,819	
地方財政法による 資金不足の比率 ((L)/(M)×100)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
健全化法施行令第16条により 算定した資金の不足額 (N)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額 (O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
健全化法施行令第17条により 算定した事業の規模 (P)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
健全化法第22条により算定した 資金不足比率 ((N)/(P)×100)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

資 本 的 収 支

(単位:千円)

区 分		年 度		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
		(決算)	(予算)	(決算)	(予算)											
資 本 的 収 入	1. 企 業 債	148,100	231,500	361,800	117,500	192,000	341,000	231,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	
	うち資本費平準化債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2. 他 会 計 出 資 金	30,000	10,000	15,000	30,000	30,000	30,000	40,000	40,000	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
	3. 他 会 計 補 助 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	4. 他 会 計 負 担 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5. 他 会 計 借 入 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6. 国(都道府県)補助金	90,688	103,511	270,000	116,500	161,000	260,000	150,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	
	7. 固定資産売却代金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	8. 工 事 負 担 金	6,904	2,026	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	9. そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計 (A)	275,692	347,037	651,800	265,000	384,000	632,000	422,000	192,000	192,000	192,000	202,000	202,000	202,000	202,000	
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	31,300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	純計 (A)-(B) (C)	244,392	347,037	651,800	265,000	384,000	632,000	422,000	192,000	192,000	192,000	202,000	202,000	202,000	202,000	
	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	261,349	374,820	653,800	251,586	370,586	618,586	398,586	168,586	168,586	168,586	168,586	168,586	168,586	168,586
うち職員給与費		13,358	16,961	17,321	17,586	17,586	17,586	17,586	17,586	17,586	17,586	17,586	17,586	17,586	17,586	
2. 企 業 債 償 還 金		89,653	99,778	107,386	114,825	122,294	128,699	133,716	143,083	153,491	163,561	166,323	166,323	155,333		
3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4. 他 会 計 へ の 支 出 金		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5. そ の 他		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計 (D)	351,002	474,598	761,186	366,411	492,880	747,285	532,302	311,669	322,077	332,147	334,909	334,909	323,919			
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)	106,610	127,561	109,386	101,411	108,880	115,285	110,302	119,669	130,077	130,147	132,909	132,909	121,919			
補 填 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	92,310	39,138	76,070	90,729	91,425	84,285	89,302	112,760	123,168	93,238	126,000	115,010			
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	—	34,000	—	—	—	—	—	—	—	30,000	—	—			
	3. 繰 越 工 事 資 金	—	31,300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	4. そ の 他	14,300	23,123	33,316	10,682	17,455	31,000	21,000	6,909	6,909	6,909	6,909	6,909			
計 (F)	106,610	127,561	109,386	101,411	108,880	115,285	110,302	119,669	130,077	130,147	132,909	121,919				
補填財源不足額 (E)-(F)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
企 業 債 残 高 (H)	2,309,130	2,440,852	2,530,014	2,532,689	2,602,395	2,814,696	2,911,980	2,844,897	2,767,406	2,679,845	2,589,522	2,510,189				

他会計繰入金

(単位:千円)

年 度 区 分	R4 (決 算)	R5 (予 算)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収益的収支分	148,000	155,636	168,000	163,000	163,000	167,000	175,000	175,000	175,000	175,000	175,000	170,000
うち基準内繰入金	110,296	108,945	117,600	114,100	114,100	116,900	122,500	122,500	122,500	122,500	122,500	119,000
うち基準外繰入金	37,704	46,691	50,400	48,900	48,900	50,100	52,500	52,500	52,500	52,500	52,500	51,000
資本的収支分	30,000	10,000	15,000	30,000	30,000	30,000	40,000	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000
うち基準内繰入金												
うち基準外繰入金	30,000	10,000	15,000	30,000	30,000	30,000	40,000	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000
合 計	178,000	165,636	183,000	193,000	193,000	197,000	215,000	215,000	215,000	225,000	225,000	220,000

(2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

〈1. 収支計画のうち投資について〉

- ・目標 ～令和10年度 グリーンタウン地区の施設整備等を主要事業とする。
 令和11年度～ グリーンタウン地区以外の施設整備を進める。
 令和15年度に水洗化率70%を目指す。

◎建設改良費

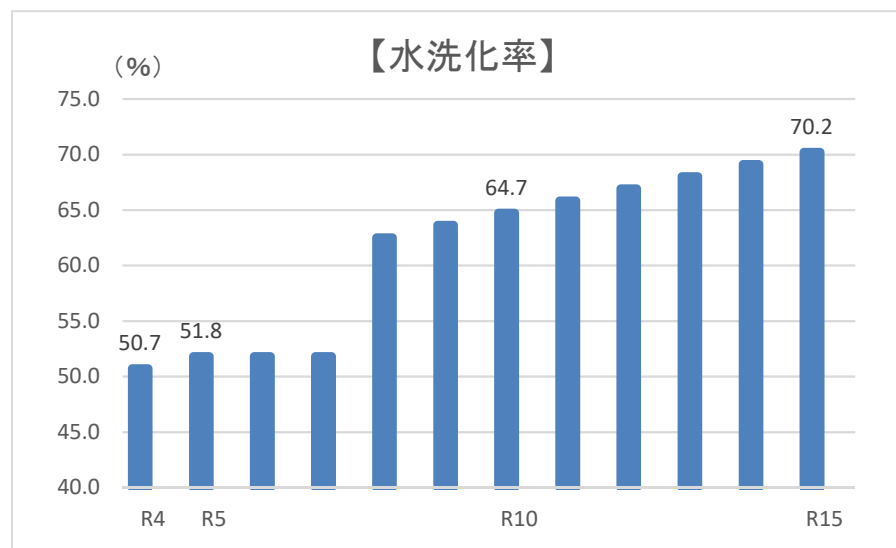
～令和10年度 主にグリーンタウン地区の管渠整備費、処理場撤去費等を見込んでいる。

令和11年度～ 施設整備費として150,000千円/年を見込んでいる。

旧吉野川流域下水道事業建設負担金として1,000千円/年を見込んでいる。

◎水洗化率

施設整備を進めつつ既整備区域の接続率向上に取組み、令和15年度に水洗化率70%を目指す。



〈2. 収支計画のうち財源について〉

- ・目標 国庫補助金の活用や接続率向上による料金収入105%増を目指し、繰入金比率52%を目標とする。

◎国庫補助金の活用

可能な限り活用することにより財政負担を軽減し、安定した財源の確保に努める。

◎使用料収入の見通し

令和15年度までに整備面積74%増を目標として施設整備を進めるとともに、既整備区域の接続率の向上にも努め、使用料収入は105%増を目標とする。

◎経費回収率の見通し

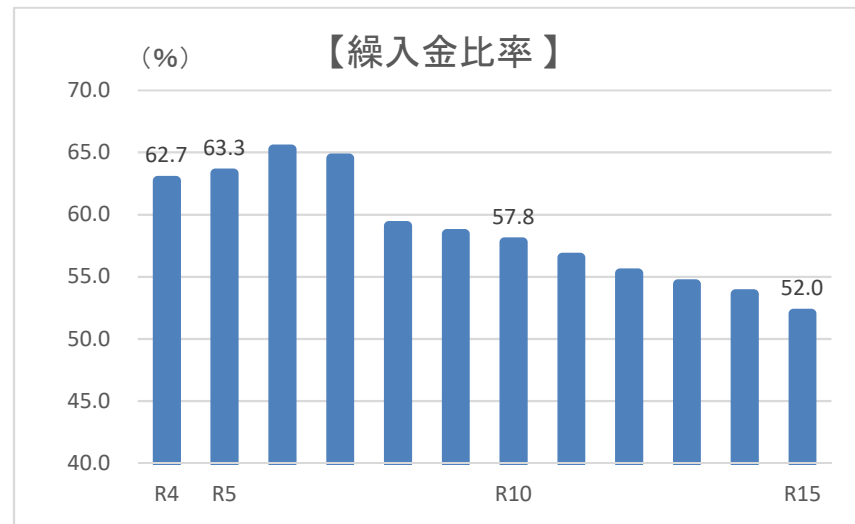
使用料収入105%増を目標として施設整備を進め、令和15年度の経費回収率の目標を79%とする。

◎企業債

企業債の借入を行い、財政負担を後年度に平準化する。

◎繰入金

使用料収入のみでの事業運営は厳しく、財源不足額に対し一般会計からの繰入金を活用している。接続率を向上させることで使用料収入増を目指し、支出の見直しを図り、基準外繰入の減少に努める。令和15年度に繰入金比率52%を目標とする。



〈3. 収支計画のうち投資以外の経費について〉

- ・民間活力の活用

旧吉野川流域下水道の処理施設の管理運営は、指定管理者制度を導入している。

- ・職員給与費

下水道事業の運営に必要最低限の人数で業務を行っているため削減は難しいと考える。

- ・動力費、修繕費等の必要経費

過年度実績に令和10年度までは物価上昇率（過去5年間の消費者物価指数上昇率平均）を加味し、以降は据え置きとした。

(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

〈1. 今後の投資についての考え方・検討状況〉

- ・ 広域化・共同化・最適化に関する事項

引き続き、旧吉野川流域下水道の構成市町と徳島県が共同で下水道事業を進める。

- ・ 投資の平準化に関する事項

管渠は、供用開始からの年数が浅いため、適切な維持管理に努める。

流域下水道の施設整備等に要する経費は、構成市町で按分される負担金について、県の計画に基づき企業債等の財源確保に努める。

- ・ 民間活力の活用に関する事項（PPP／PFIなど）

現在のところ導入を予定していないが、今後他団体の取組状況を参考にしながら検討を行う。

- ・ その他の取組

供用開始から14年を経過しており、ストックマネジメント計画の策定と実施は検討中である。

〈2. 今後の財源についての考え方・検討状況〉

- ・ 使用料の見直しに関する事項

長期的な見通しに立った適正な使用料の検討を本経営戦略の見直しに合わせて行う。

- ・資産活用による収入増加の取組

活用できる資産なし。

- ・その他の取組

国庫補助金、企業債、一般会計繰入金等の資金調達を確実にし、資金不足が生じることのないように計画的な資金管理を行う。また、下水道の接続推進により使用料収入を増やし、基準外繰入の軽減に努める。

5. ロードマップ

(1) これまでの主な経営健全化の取組

水洗化に係る加入促進を始めとし、職員数の適正化、企業会計制度への早期移行等を行い経営健全化に向けた取組みに努めてきた。しかしながら、一般会計からの基準外の繰入金に依存せざるを得ない状況にあり、この状況の改善が求められる。

(2) 経費回収率の向上に向けたロードマップ

「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について」（令和2年7月21日付け国水下企第34号）を踏まえ、経費回収率の向上に向けたロードマップを次に示す。

年度 項目	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経営戦略計画期間											
経営戦略策定・見直し											
使用料の検討											
使用料改定（必要時のみ）											

- ・ 5年に1度の本経営戦略の見直しに併せて下水道使用料改定の検証を行い、経費回収率の向上を目指す。
- ・ 本経営戦略期間中は、施設整備を進めていくことで経費回収率は増加していく見込みとなる。

(3) 業績目標

ロードマップに従い、経費回収率の向上に向けた業績目標を次に示す。

経費回収率	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
	54.2%	58.0%	67.9%	68.8%	70.5%	72.4%	74.2%	76.1%	77.7%	79.4%
使用料収入(千円)	52,477	52,639	70,821	75,061	78,959	83,160	87,469	92,004	96,212	100,739
汚水処理費(千円)	96,797	90,829	104,372	109,058	111,986	114,873	117,822	120,912	123,765	126,861

〈経費回収率の向上に向けた具体的な取組〉

- ・ 施設整備を進めていくことで使用料収入が増加し、本経営戦略のモニタリングを行うことにより費用削減を検討する。
- ・ 将来の使用料収入確保に必要な投資を実施しながら、経費回収率79%を目指すと共に、一般会計からの繰入金(基準外繰入)の削減を目指す。

(4) 進捗管理と経営指標

経常収支比率が100%を超える安定的な事業運営に努めるとともに、本経営戦略の取組みを実施していくために、以下のとおり経営指標を定め、今後5年毎に見直しを行う。

経常収支比率	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
	101.2%	101.3%	100.3%	100.5%	101.2%	100.3%	100.3%	101.2%	102.2%	101.5%
経常収益 (千円)	257,451	252,574	275,839	285,686	302,824	309,495	316,624	321,634	326,420	326,651
経常費用 (千円)	254,432	249,318	274,965	284,244	299,165	308,430	315,730	317,668	319,539	321,960

(5) 下水道使用料

令和4年度における経費回収率が60.7%であることから、使用料収入を増加させることが重要な課題と言える。使用料改定の検討や接続率向上による使用料収入の増加を目標とし適正な使用料のあり方を検討する。

別添

原価計算表

処理区域内人口：4,111人(令和4年度末)

供用開始年月：平成21年4月

計算期間：令和6年度～令和15年度(10年間)

項目	収入の部			
	R4実績	投資・財政計画 計上額(A)	公費負担分 (B)	使用料対象収入 (A)-(B)
使用料	千円 49,021	千円 78,954	千円	千円 78,954
受託工事収益	-	-	-	-
その他	50	80		80
合計	49,071	79,034	-	79,034

項目	支出の部			
	R4実績	投資・財政計画 計上額(A)	公費負担分 (B)	使用料対象支出 (A)-(B)
人件費	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
退職給付	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
修繕費	21	55	55	-
材料費	-	-	-	-
路面復旧費	-	-	-	-
委託料	2,168	2,252	2,252	-
その他	884	918	918	-
小計	3,073	3,225	3,225	-
一般管理費	8,656	8,888	8,888	-
人件費	-	-	-	-
退職給付	10,037	11,373	11,373	-
その他	46,099	68,263	-	68,263
流域下水道管理運営費負担金	6,480	6,990	-	6,990
委託料	13,055	22,753	21,946	807
小計	84,327	118,267	42,207	76,060
資本費	28,899	29,996	29,996	-
減価償却費	74,105	96,873	96,873	-
企業債取扱諸費	-	-	-	-
小計	103,004	126,868	126,868	-
合計	190,404	248,360	172,300	76,060

資産維持費(Z)	677千円
使用料対象経費(Y)+(Z)	76,737千円

$$(X) / ((Y) + (Z)) * 100 =$$

102.89 %

<使用料水準についての説明>

計算期間内の使用料収入は使用料対象経費を上回っており、料金改定の必要性は低いと考える。